

## 憧れの神社式×ホテルウェディングが叶う！

### 甲斐国一宮浅間神社 挙式プラン

2009年6月  
フルーツパーク富士屋ホテル(支配人 角田 洋和 所在地:山梨県山梨市江曾原1388)では、  
笛吹市一宮町の甲斐国一宮浅間神社(いちのみやあさまじんじゃ)と提携し、神社で式を挙げ披露宴はホテルで行いたいというカップルの希望に応える「挙式プラン」を販売します。

ウェディング市場で、いま再び人気を集めている「和」のウェディング。ここ数年、「挙式は由緒ある神社で。披露宴はおもてなしのできる会場で。」と考えているカップルが増えています。

しかし、披露宴施設以外の神社仏閣での挙式は、「手配の仕方が分からない」「自分たちで全部手配するのが大変すぎる」などの理由で諦めてしまうケースもあるようです。

当ホテルでは、既存施設内に「芙蓉殿(ふようでん)」をもち、山梨市万力にある大嶽山那賀都神社(だいたけさんながとじんじゃ)宮司による神前式を執り行っておりますが、近年 一宮浅間神社での挙式を希望するカップルからの問合せが増えたことを受け、このたび一宮浅間神社と提携した挙式プランを設けました。

(一宮浅間神社へは、当ホテルから車で約20分) \*一宮浅間神社については添付資料をご覧ください。

当ホテルでは、年間利用組数のうち約1割のカップルが神前式を挙げていますが、一宮浅間神社との提携によりさらに利用組数が増えることを期待します。

また、神社への問合せや当日のスケジュール、送迎バスの用意などの細かい手配事項についても、当ホテルのブライダルコーディネーターがカップルのご希望を伺い、ご提案やアドバイスはもちろん、必要な手配やスケジュール調整などを行いサポートします。



甲斐国一宮浅間神社

美しい日本の文化や伝統美を色濃く残す神社での挙式と伝統ある老舗ホテルとの提携は、「いつの時代もゆるぎない本物が放つ価値」を実感できる重厚な結婚式をイメージできると思います。

\*\*\*\*\*

### 「甲斐国一宮浅間神社」挙式プラン

- 価格： ¥84,000 初穂料(神社にお納めするもの)・介添え出張料・美容師出張料含・送迎マイクロバス1台を含む
- 対象： フルーツパーク富士屋ホテルでの婚礼申込者

#### ★こんなカップルにおススメ★

- ・挙式は厳粛に執り行いたい ・結婚式に伝統と格式を求めたい ・自分達らしい思い出を残したい
- ・和装と洋装どちらも着たい ・披露宴はおもてなしを重視したい ・手配やスケジュール管理等がわからない など

- 問合せ： 0553-22-8811 フルーツパーク富士屋ホテル ブライダル

【このリリースに関するお問合せ】

フルーツパーク富士屋ホテル 営業課(広報担当) あめみや る み 雨宮 留美  
TEL: 0553-22-8811 FAX: 0553-22-3988  
URL: <http://www.fruitpark.jp/> MAIL: [r-amemiya@fujiyahotel.co.jp](mailto:r-amemiya@fujiyahotel.co.jp)  
〒405-0043 山梨県山梨市江曾原1388 笛吹川フルーツ公園内



# 甲斐國一宮

# 浅間神社

山梨県笛吹市宮町二宮六八四  
電話〇五五三(四七)〇九〇〇

## 略誌

御祭神 **木花開耶姫命**  
このはなさくやひめのみこと

### 御祭神・御由緒

第十代垂仁天皇八年(約二千年前)正月始めて神山の麓にお祀りされた。今こを山宮神社と称して摂社となっている。第五十六代清和天皇の貞観七(八六五)年十二月九日木花開耶姫命を現在の地にお遷ししてお祀りされている。甲斐国の一宮(いちのみや)であつて延喜の制に於ける明神大社である。明治四年五月十四日国幣中社に列格。本殿は入母屋向拝造銅板葺拜殿は入母屋唐破風向拝造銅板葺である。境内は三二九五坪(二ヘクタール余)

### 特殊神事

#### 大神幸祭

大神幸祭は、甲斐国第の大祭と称され、社記によれば天長二年(八二五)以来旧四月第二の亥の日、甲斐市竜王三社神社に神幸の上、川陰祭(水防祭)を執り行つて来たが、明治以後四月十五日と改め本社にて例大祭執行の後、回所及び甲府市上石田三社神社に神幸。(現在は竜王三社神社のみ)片途約六里(二四キロ)に及ぶ行程である。

#### 梅折枝の神事

今境内端垣内に夫婦梅と称して陰陽二花相寄つて願を結実すると神木がある。後嗣なき者が祈願してこの梅をいただくと子玉を得ると云い伝えられ、遠近より授与を請う者が多い。古来毎年陰曆四月第二亥の日に神前に供え、子授祈願祭を執り行つている。

### 摂社 山宮神社(永祿元年(二五五八)再建)

本社を距ること東南二十丁余(二キロ余)清流山宮川の水源地神山の麓にあり、千古の老杉二本、神木として連立している。本殿は春日造、檜皮葺にしてその結構すこぶる壯麗である。

毎月十五日を恒例神祭日となす。三月十五日山宮神幸祭を行つてきたが現在は三月十五日前の日曜日。

当社は垂仁天皇の御代鎮祭された本宮であるが、貞観七年(八六五年)十二月三柱の内木花開耶姫命を里宮に遷座されたもので大山祇神と天孫瓊々杵命の二柱を御祭神としている。

### 御神徳

御祭神木花開耶姫命は大山祇神の御女でまた御名を吾田鹿葦津姫命(あだかあしひめのみこと)又桜大乃目命(さくらおおとのみこと)と申しあげる。天孫瓊々杵命の妃として皇室の始祖大御母と仰ぎ奉る大神である。

大神は木の花(桜花)の咲き映ゆる如く艶麗優美の御容姿でしかも孝順、謙讓の美徳をもつて天孫にお仕えて貞節、至純、国土経営に尽くされた内助の功も極めて大きく、今日の日本の基礎を築かれたご功德は永く日本女性の模範と仰がれている。

古来山火鎮護、農業、酒造の守護神、又婚姻、子授安産の靈徳神として崇敬をあつめている。

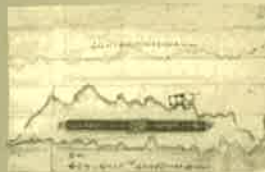
### 御宝物

#### 重要文化財

- 〇摂社山宮神社  
本殿 亨宇

#### 重要文化財

- 〇第三〇五代後奈良天皇  
御宸翰「般若心経」二軸  
武田大膳大夫晴信奉納  
自筆の包紙を添ふ。



〇かえる股  
〇山宮神社  
狛犬式体

〇山宮神社棟札

#### 県指定天然記念物

- 〇夫婦梅  
(紅梅八重桜)

#### 県指定文化財

- 〇国次の太刀(刀身三尺一寸五分)  
武田信玄公奉納
- 〇一徳斎助則の太刀(刀身三尺四寸八分)



#### 笛吹市指定有形文化財書跡

- 〇武田信玄公自詠の短冊  
うしろ垣る初瀬の花のしらゆきを  
かけてそ折る梅のまにく



- 〇武田信玄公の條目
- 〇参拾六歌仙  
(拜殿内に掲額)  
元祿七年(1694年)奉納



〇大神幸祭巫懸絵巻

